

2024年3月期決算
業績説明会資料

経営の現況

2024年5月23日

 **日油** 株式会社

目次

1. 2024年3月期 連結決算	P4 ~ 9
2. 2025年3月期 業績予想	P11 ~ 13
3. 2025中期経営計画 進捗	P15 ~ 34

目次

1. 2024年3月期 連結決算	P4 ~ 9
2. 2025年3月期 業績予想	P11 ~ 13
3. 2025中期経営計画 進捗	P15 ~ 34

2023年度業績概要

◆売上高は前期を上回り、営業利益、経常利益および当期純利益全て過去最高を更新

◆年間配当金は、6円増配となる114円

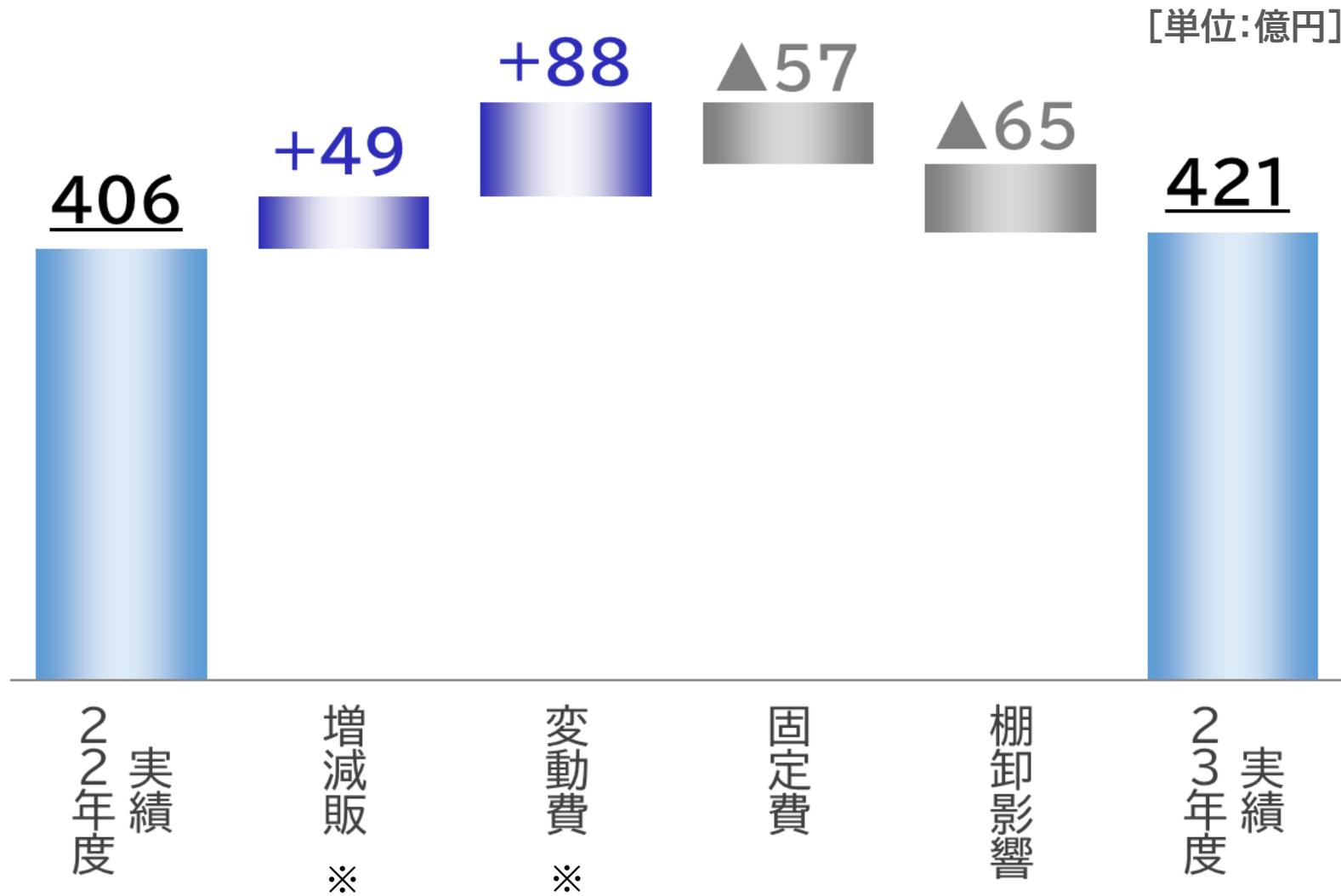
[単位:億円]

	2022年度 実績	2023年度 実績	増減額	2023年度 予想(11/1)	増減額
売上高	2,177	2,223	+45	2,200	+23
売上総利益 (売上総利益率)	759 (34.9%)	795 (35.8%)	+35		
販売費・管理費	353	373	+20		
営業利益 (営業利益率)	406 (18.7%)	421 (19.0%)	+15	400 (18.2%)	+21
経常利益	432	456	+24	425	+31
当期純利益※1	340	340	+0	325	+15
1株当たり 当期純利益※2	139.0円	141.2円	+2.2円	134.7円	+6.5円
1株当たり 配当金	108円	114円	+6円	112円	+2円

※1 当期純利益=親会社株主に帰属する当期純利益

※2 2024年4月1日付で普通株式1株を3株に分割。2022年度より分割換算したと仮定した数値を記載

連結営業利益の差異内訳



※増減販及び変動費には、計+ 17億円の為替影響を含む

機能化学品セグメント

2023年度の概況

◆減収減益

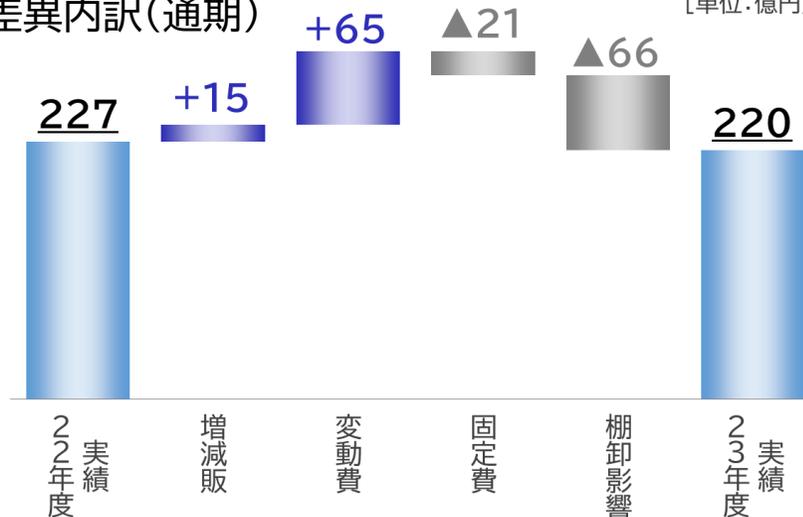
◆国内外の需要低迷により減収減益も営業利益率は前期並みを維持

[単位:億円]

	2022年度実績			2023年度実績			増減額		
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期
売上高	672	688	1,360	637	699	1,336	▲35	+11	▲24
営業利益	116	111	227	100	120	220	▲16	+9	▲7
(営業利益率)	(17.3%)	(16.1%)	(16.7%)	(15.7%)	(17.1%)	(16.5%)			

営業利益差異内訳(通期)

[単位:億円]



売上高増減の主な要因(対前期)

- ・機能化学品全般
⇒国内外の需要低迷
- ・化粧品原料
⇒需要が堅調に推移
- ・特殊防錆処理剤
⇒海外向け自動車関連の需要が回復

※増減販及び変動費には、計▲0億円の為替影響を含む

医薬・医療・健康セグメント

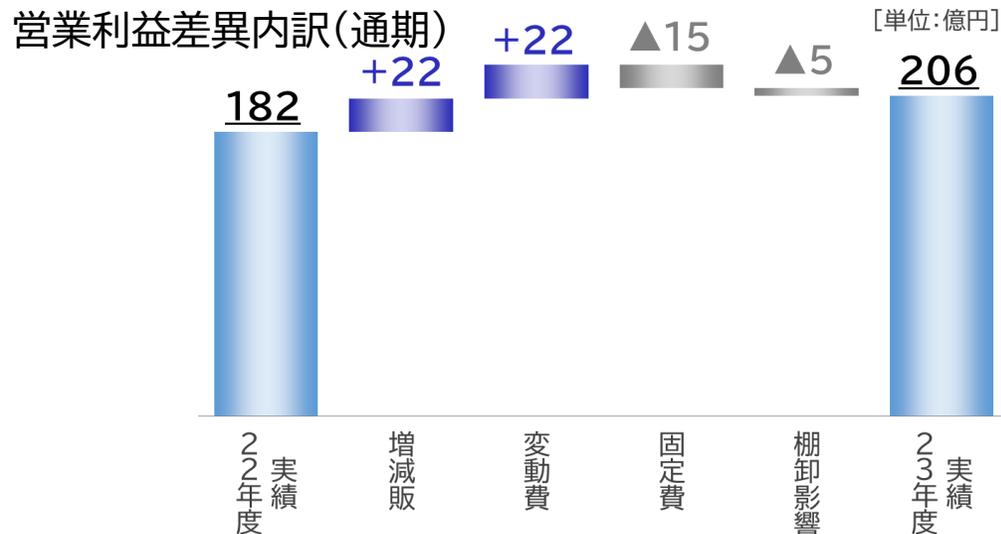
2023年度の概況

◆増収増益

◆DDS医薬用製剤原料が好調に推移し営業利益率向上

[単位:億円]

	2022年度実績			2023年度実績			増減額		
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期
売上高	264	250	514	264	276	540	+0	+26	+26
営業利益	98	85	182	105	101	206	+7	+16	+23
(営業利益率)	(37.0%)	(33.9%)	(35.5%)	(39.8%)	(36.5%)	(38.1%)			



売上高増減の主な要因(対前期)

・食用加工油脂

⇒品種統廃合による影響はあるものの、
原燃料価格高騰を受け販売価格を改定し売上高前期並み

・生体適合性素材

⇒アイケア関連、診断薬素材にて在庫調整により需要減

・DDS医薬用製剤原料

⇒欧米への出荷が好調に推移、円安メリットを享受

※増減販及び変動費には、計+ 17億円の為替影響を含む

化薬セグメント

2023年度の概況

◆増収増益

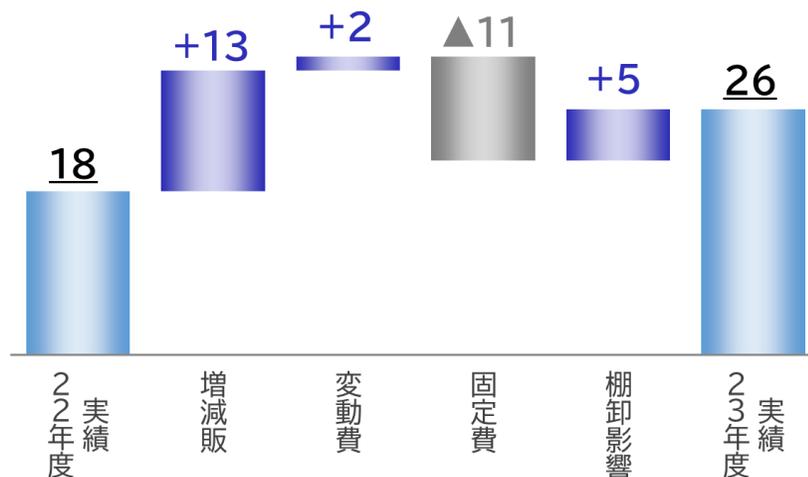
◆防衛関連製品が好調

[単位:億円]

	2022年度実績			2023年度実績			増減額		
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期
売上高	100	199	299	114	227	341	+15	+28	+43
営業利益	▲1	19	18	7	19	26	+9	+0	+9
(営業利益率)	(▲1.3%)	(9.5%)	(5.9%)	(6.5%)	(8.3%)	(7.7%)			

営業利益差異内訳(通期)

[単位:億円]



売上高増減の主な要因(対前期)

- 産業用爆薬類
⇒需要が堅調に推移
- 宇宙関連製品
⇒ロケット向け製品の出荷が増加
- 防衛関連製品
⇒需要が好調に推移
- 機能製品
⇒需要が低調に推移

2023年度通期 前期比の業績動向(主要製品)

セグメント	主要製品	売上高	営業利益	業績動向
機能化学品	界面活性剤			前期の原燃料価格高騰分の販売価格改定により売上高が前期並みもトイレタリー関連の出荷が減少し減益
	脂肪酸誘導体			中国において冷凍機用潤滑基材の出荷が減少し減益
	特殊防錆処理剤			国内外で自動車関連の出荷が好調に推移し増益
医薬・医療・健康	DDS医薬用製剤原料			欧米への出荷が好調に推移したことに加え、為替影響もあり増益
	食用加工油脂・食品機能材			品種統廃合および原燃料価格高騰を受けた販売価格改定により、収益性改善し増益
化薬	防衛関連製品			需要が好調に推移し増益
	宇宙関連製品			ロケット向け製品の出荷が増加したものの利益前期並み

目次

1. 2024年3月期 連結決算	P4 ~ 9
2. 2025年3月期 業績予想	P11 ~ 13
3. 2025中期経営計画 進捗	P15 ~ 34

日油グループを取り巻く事業環境

- ・地政学的リスク
 (ウクライナ危機長期化、中東情勢、米中対立)
- ・世界的なインフレ継続と金融引締めに伴う影響



原燃料価格の高止まり
 世界経済先行き不透明

		2025中計 想定	2023年度 実績	2024年度 想定
パーム油 ※	US\$/MT	950	907	1,050
国産ナフサ	円/KL	69,000	69,050	76,000
為替レート	円/US\$	130	144	145
	円/EUR	130	156	155

※FOBマレーシア

2024年度業績予想の概要

◆DDS医薬用製剤原料で一時的な需要の踊り場を迎え、減益予想

[単位:億円]

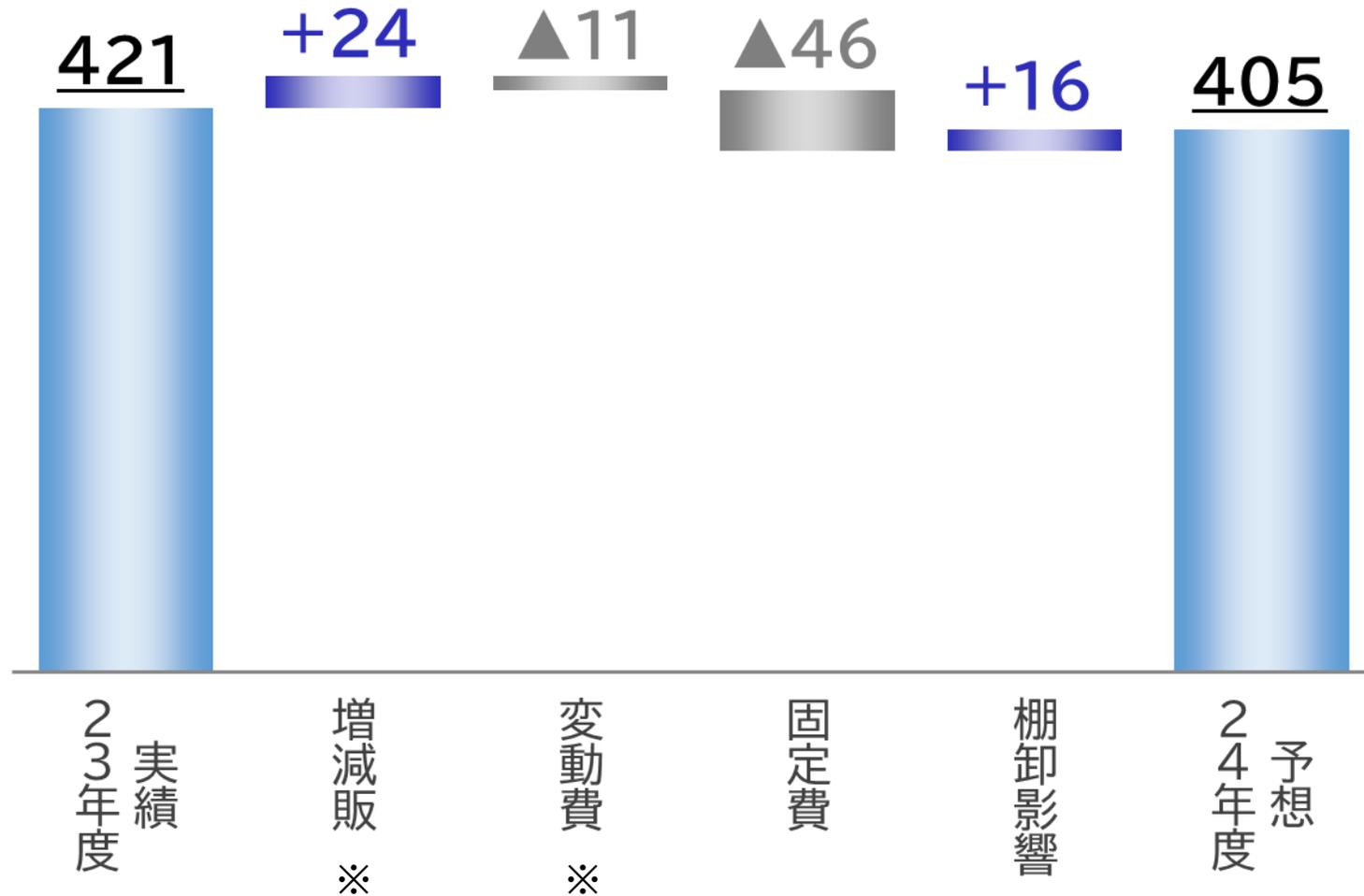
	2023年度 実績	2024年度 予想	増減率
売上高	2,223	2,320	+4.4%
営業利益	421	405	▲3.9%
(営業利益率)	(19.0%)	(17.5%)	
経常利益	456	416	▲8.7%
当期純利益※	340	330	▲2.9%
1株当たり 当期純利益	141.2円	138.1円	

※当期純利益＝親会社株主に帰属する当期純利益

連結営業利益の差異内訳

2024年度予想 対 2023年度実績

[単位:億円]



※増減販及び変動費には、計+ 2億円の為替影響を含む

目次

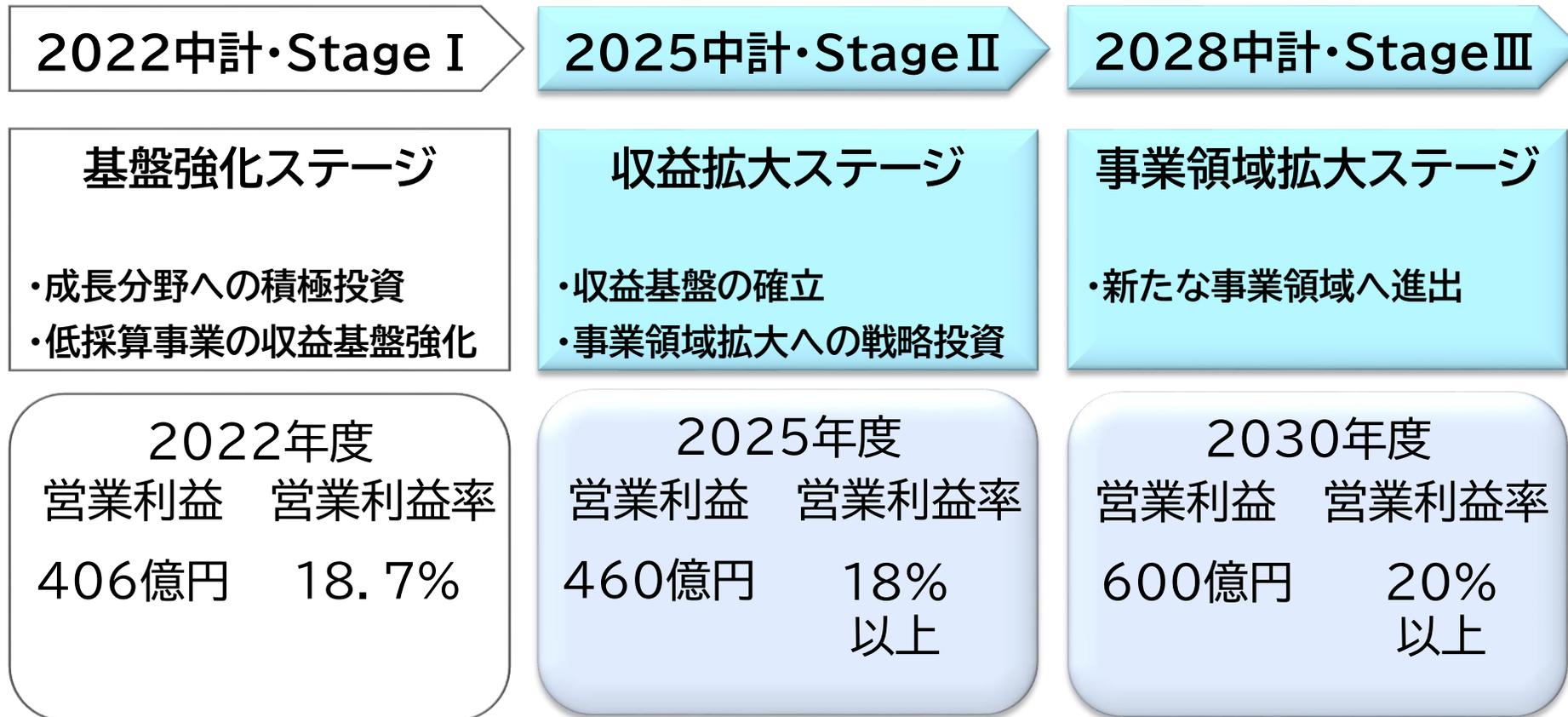
1. 2024年3月期 連結決算	P4 ~ 9
2. 2025年3月期 業績予想	P11 ~ 13
3. 2025中期経営計画 進捗	P15 ~ 34

NOF VISION 2030

2030年度のありたい姿

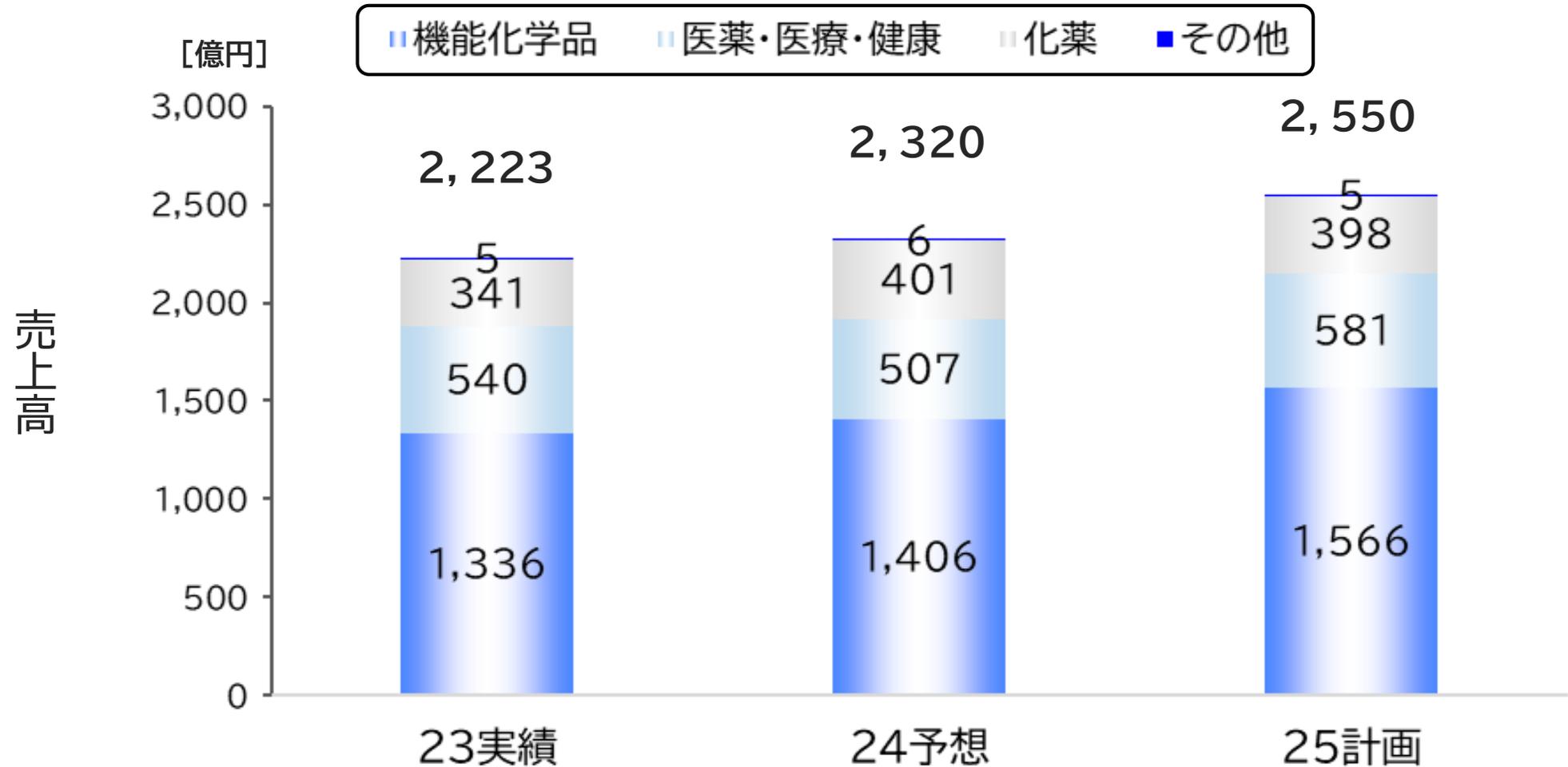
豊かで持続可能な社会実現のため、「ライフ・ヘルスケア」、「環境・エネルギー」、「電子・情報」の3分野において、化学の力で新しい価値を継続的に創出する企業グループ

NOF VISION 2030



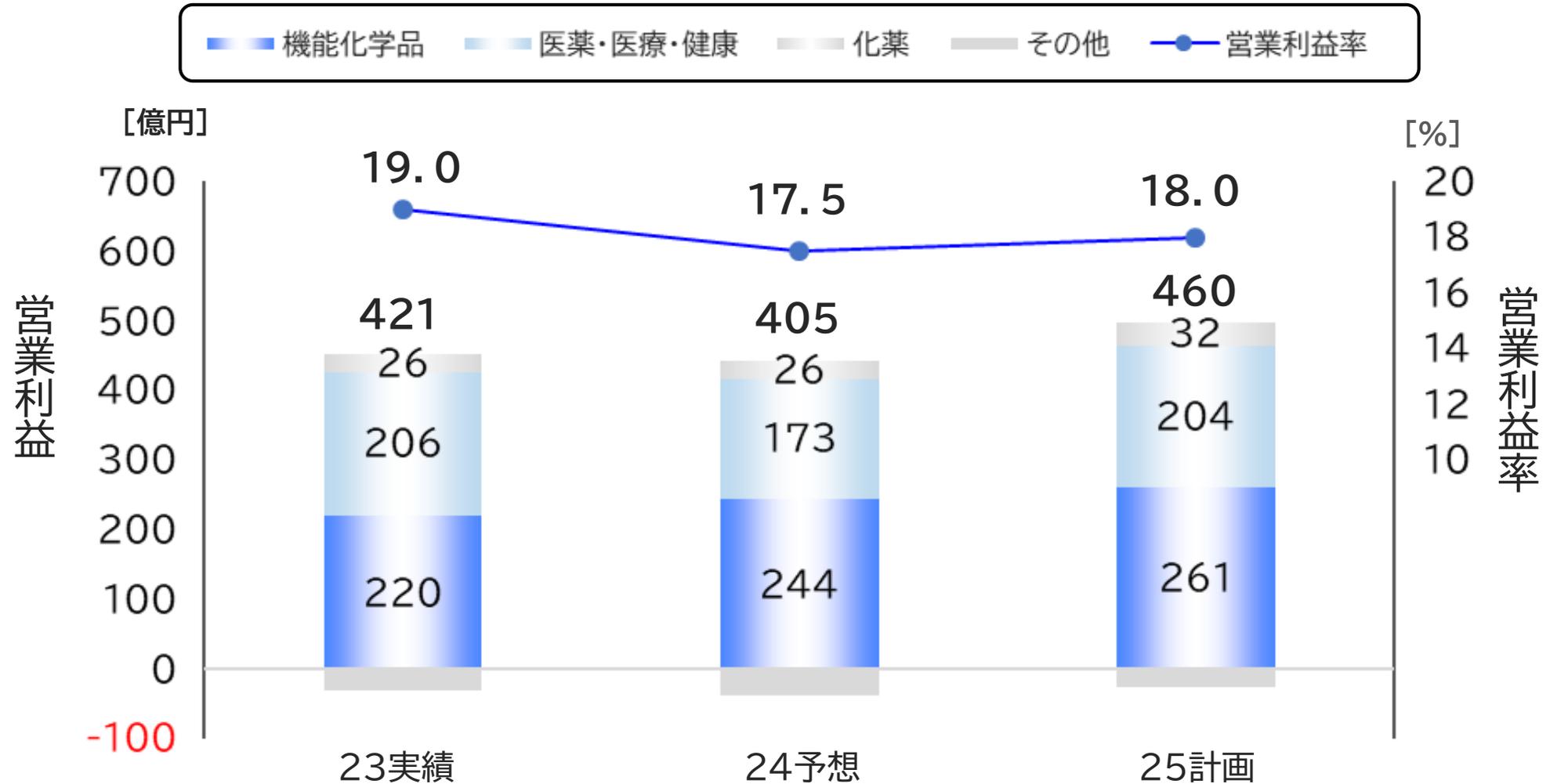
売上高の推移

2023年度実績と2024年度予想



営業利益・営業利益率の推移

2023年度実績と2024年度予想



機能化学品セグメント

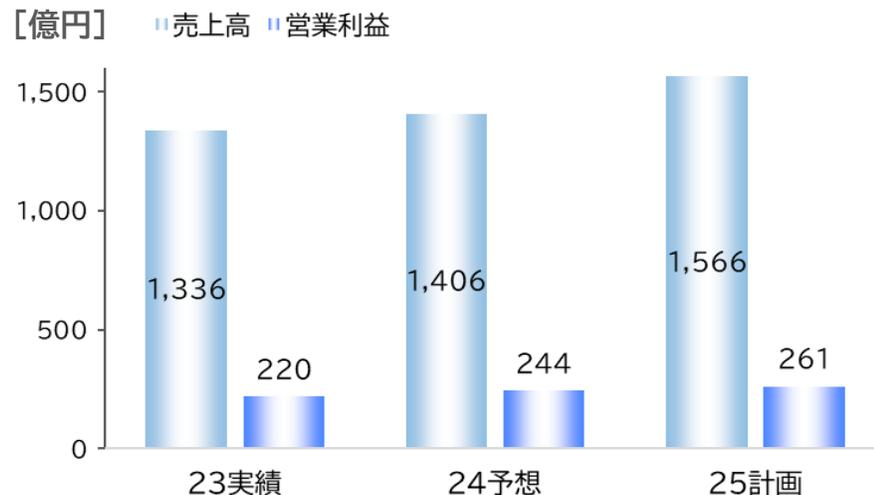
2024年度市場環境と2025中計での注力分野

2024年度

- ・化粧品原料
⇒国内需要徐々に回復
- ・特殊防錆処理剤
⇒自動車関連堅調
- ・冷凍機用潤滑基材
⇒中国需要低調継続

注力分野

- ・化粧品原料
⇒販売強化、新規需要の獲得、植物性原料の開発・上市を推進、海外展開の加速
- ・特殊防錆処理剤
⇒電気自動車、風力発電等非自動車分野に対する製品開発推進と拡販
- ・脂肪酸誘導體
⇒環境対応製品(冷凍機用潤滑基材、船尾管軸受油等)の拡販、高機能エステルの新製品開発・上市を推進



【24年度予想の対前期営業利益差異内訳】

増減販	変動費	固定費	棚卸影響	合計
+24	△12	△15	+27	+24

医薬・医療・健康セグメント

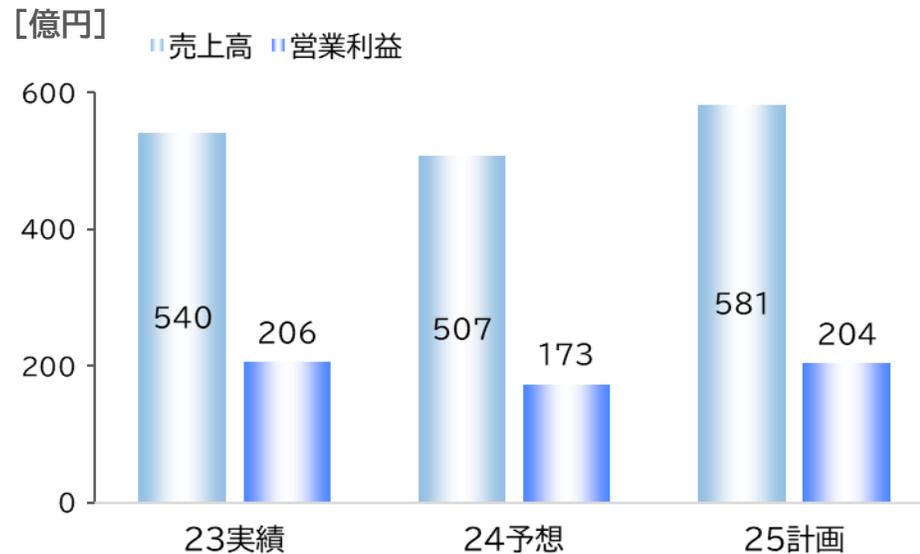
2024年度市場環境と2025中計での注力分野

2024年度

- DDS医薬用製剤原料
 ⇒ 上市品における在庫調整
 ⇒ 臨床開発遅延による需要停滞
- 食用加工油脂
 ⇒ 外食市場・インバウンド需要の回復

注力分野

- DDS医薬用製剤原料
 ⇒ 抗体・核酸医薬品開発の活発化に伴う
 需要拡大に対し、生産体制強化
- 生体適合性素材
 ⇒ 素材開発に注力、医療分野での拡販、
 海外展開の加速
- 食用加工油脂
 ⇒ 製品統廃合と食品機能材の拡販



【24年度予想の対前期営業利益差異内訳】

増減販	変動費	固定費	棚卸影響	合計
△20	△1	△13	+2	△33

医薬・医療・健康セグメント

DDS医薬用製剤原料の状況について

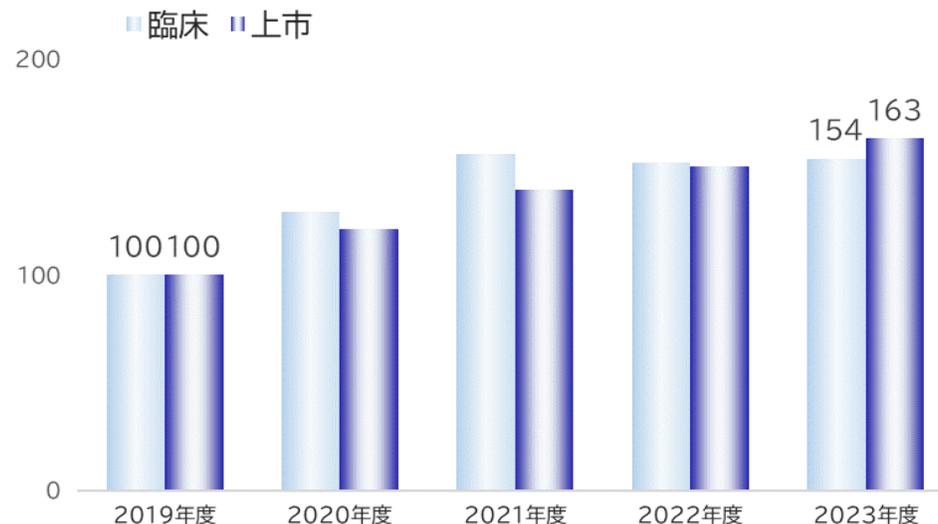
2023年度 欧米顧客において臨床後期・上市に伴う旺盛な需要があり、好調な実績

2024年度 一部顧客における在庫調整など2023年度の反動があり、やや低調となる見込み
Phosphorex社との協業による脂質ナノ粒子(LNP)の処方開発・製造受託開始

2025年度 核酸医薬品、抗体医薬品、ペプチド・タンパク質医薬品向けDDS素材を拡販、着実に伸長
DDS医薬用製剤原料(PEG修飾剤)製造設備(愛知事業所) 完成(2025年9月)予定

DDS医薬用製剤原料の臨床および上市件数推移(指数)

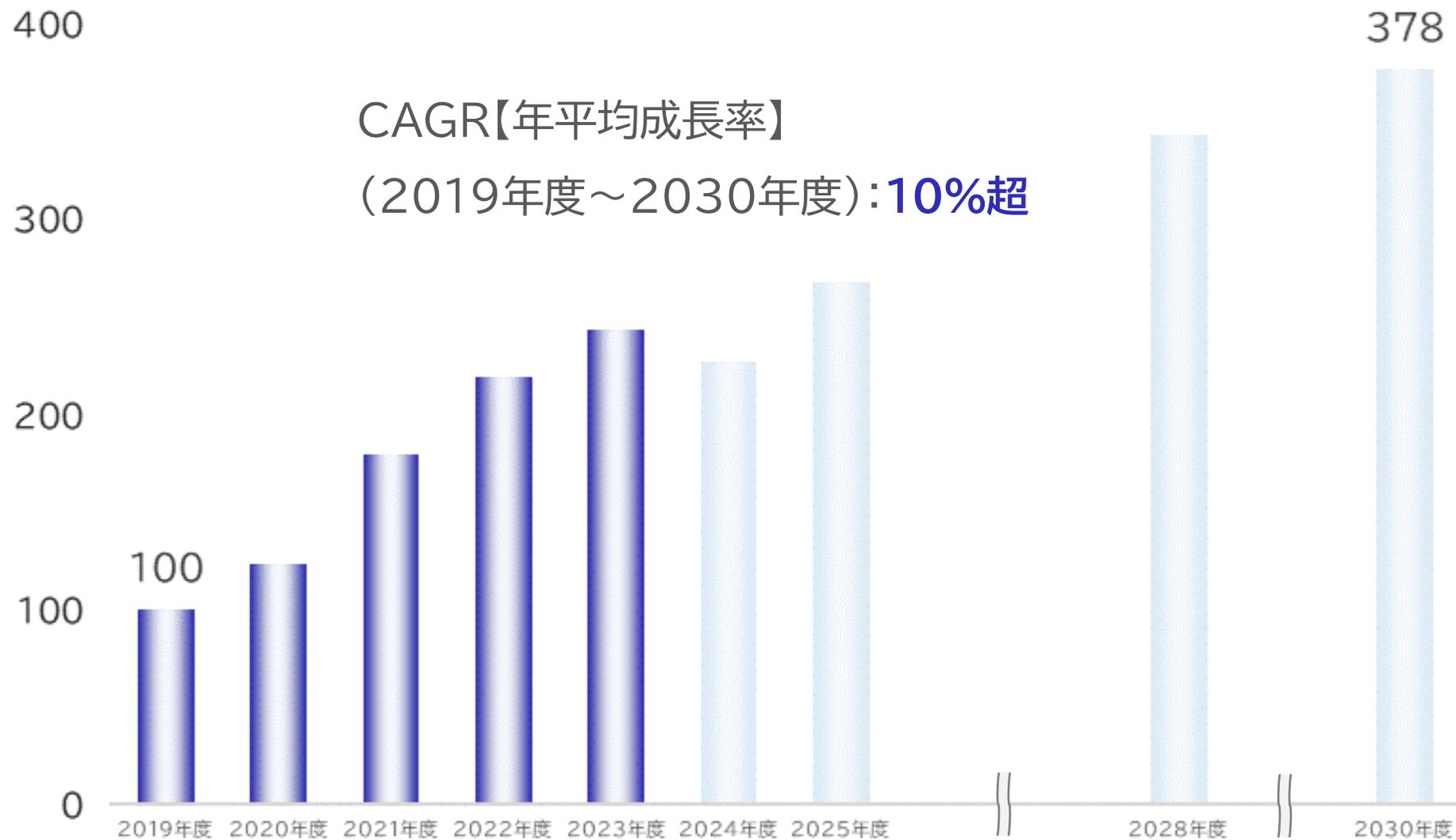
※2019年度を100として指数表示



機能性の高い素材の開発・提案や
 手厚い顧客サポートにより、
 機能性脂質、修飾剤ともに
 臨床/上市件数が着実に増加

医薬・医療・健康セグメント

DDS医薬用製剤原料の販売計画(指数) ※2019年度を100として指数表示



化薬セグメント

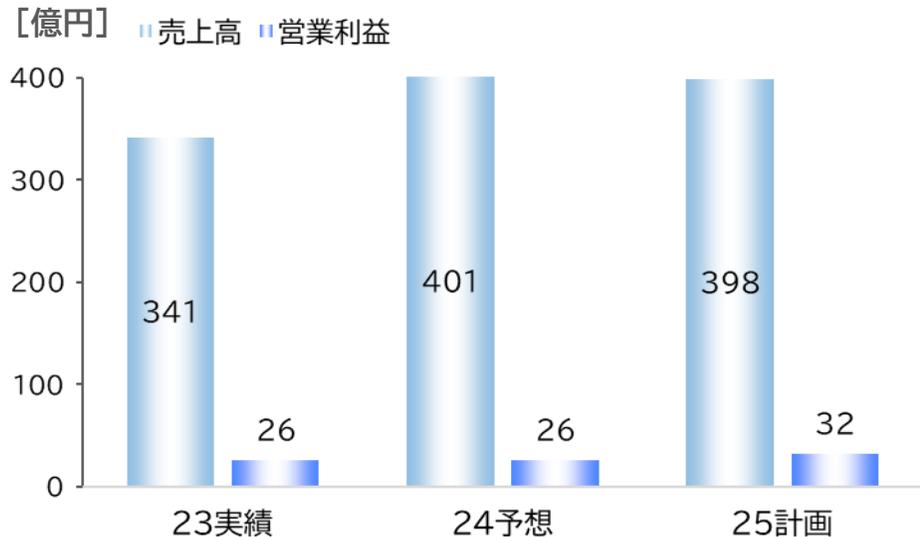
2024年度市場環境と2025中計での注力分野

2024年度

- ・産業用爆薬類
⇒爆薬需要低調、リニア工事低調
- ・防衛関連製品
⇒防衛関連製品の受注増加
- ・宇宙関連製品
⇒H3ロケット試験2号機打上成功により
需要回復

注力分野

- ・産業用爆薬類
⇒原料高騰に対する価格対応
- ・防衛関連製品
⇒防衛予算増への対応
- ・宇宙関連製品
⇒効率的な生産性体制の確立による
収益性改善



【24年度予想の対前期営業利益差異内訳】

増減販	変動費	固定費	棚卸影響	合計
+19	+2	△9	△12	+0

2025中期経営計画での戦略投資

戦略投資枠 約700億円規模を想定

事業領域拡大に向けた投資

新規事業創出のための研究開発、M&A

既存事業拡大・環境対応等への投資

需要拡大に伴う製造設備建設(DDS事業、化粧品ODM事業)
カーボンニュートラル対応、DX(スマートファクトリー)他

人材確保、人材育成等の人的投資

職場環境の整備、能力開発プログラム、DX人材育成

自己資金および政策保有株売却により投資資金を確保

2025中計の達成とさらなる成長に向けて積極投資

設備投資

設備投資の計画と実績・予定

[単位:億円]

	2025中計 (計画) ※2	2023年度 実績	2024年度 予定
設備投資 ※1	695	187	226
減価償却費	228	69	83

※1 検収ベース

※2 3カ年累計額(2023年度～2025年度)

設備投資

主な設備投資

設備	事業所	完成時期	投資額【億円】
DDS医薬用製剤原料(PEG修飾剤)製造設備新設	愛知事業所	2025年9月	166
化粧品原料の製造設備増強	愛知事業所	2024年9月	29
SS脂質製造設備の新設	愛知事業所	2023年10月	16
脂肪酸誘導体製造設備増強	尼崎工場	2025中計以降	8
防曇剤製造設備増強	愛知事業所	2024年5月	3

設備投資

生産性向上への投資

項目		2023年度の進捗	2024年度施策
業務効率化	定型業務	RPA:全社導入 AI-OCR:活用業務・ソフト選定	RPA:活用業務の拡大 AI-OCR:活用の実現
	生産スケジューラー	(モデル工場)要件定義、試行	(モデル工場)運用開始
	生産系業務	自動化の推進 ・自動充填機の導入 ・プロセス自動制御範囲の拡大	自動化の推進継続
データ利活用拡大	スマートファクトリー化の推進	・(モデル工場)ネットワーク構築、システム検討 ・フィールドデータ収集の検討	・(モデル工場)要件定義、試行 ・フィールドデータ自動収集の推進継続
	営業支援ツールの導入	要件定義	運用開始
	化学物質管理システムの導入	導入前要件定義	(モデル工場)運用準備
	設備保全管理システムの導入	導入システムの運用開始	・運用の定着 ・データ集積と活用検討

設備投資

環境対応への投資

項目	2023年度の進捗	2024年度施策
フロン規制への対応	<ul style="list-style-type: none">・自然冷媒を使用した機器仕様の決定	<ul style="list-style-type: none">・自然冷媒使用機器の導入
省エネルギー・高効率化	<ul style="list-style-type: none">・スチーム使用真空発生装置の電化推進・低環境負荷ボイラー燃料への転換方針策定(重油使用停止)・高効率ボイラーへの更新推進	<ul style="list-style-type: none">・非電化設備の電化継続・燃料転換方針の展開・高効率ボイラーへの更新継続

研究開発

2023年度オープンイノベーションの推進

●「エレクトロニクス」分野で産学委託研究公募実施

募集テーマ

- ・超高速通信
- ・次世代ディスプレイ
- ・新規発電手法
- ・電気自動車/家電向けパワー半導体材料
- ・自動運転、ロボット、ドローン自動制御センシング
- ・モーターの高性能化
- ・二次電池
- ・生体データ取得
- ・PC、スマートフォン、家電、電子機器向け半導体

2023年度 委託研究開始

●「医療・医療機器」分野で産学委託研究公募実施

募集テーマ

- ・再生医療、細胞治療、遺伝子治療用素材
- ・体外診断用医薬品用素材
- ・医療機器用素材

2024年度 委託研究開始

採択者

ウイングテクノロジー株式会社
 国立大学法人 信州大学
 国立大学法人 北陸先端科学技術大学院大学
 国立大学法人 山形大学

採択者

国立大学法人 信州大学
 国立大学法人 長崎大学
 国立大学法人 名古屋大学

研究開発

2023年度オープンイノベーションの推進

- ユニバーサル マテリアルズ インキュベーター株式会社が運営するUMI 3 号ファンドに出資
ファンドの投資領域:

環境・エネルギー、食糧・農業、ライフサイエンス、電子・情報、
モビリティおよび素材・化学分野の開発にかかる共通基盤
投資領域に関連したテーマ発掘、オープンイノベーションを推進

- 政府研究開発プロジェクト参加

(化薬事業部)内閣府 総合科学技術・イノベーション会議

戦略的イノベーション創造プログラム(SIP)

『スマートインフラマネジメントシステムの構築』～2028年3月

無線電子雷管ウインデット® IIでの参加

(ライフサイエンス事業部)国立研究開発法人日本医療研究開発機構(AMED)

ワクチン開発・生産体制強化戦略関連事業

『ワクチン・新規モダリティ研究開発事業』～2027年3月

脂質ナノ微粒子材料での参加

研究開発費の計画と実績・予定

[単位:億円]

		2025中計 (計画) ^{※2}	2023年度 実績	2024年度 予定
機能化学品	研究開発費	106	35	38
	売上高に対する 研究開発比率	—	2.6%	2.7%
医薬・医療・健康	研究開発費	59	16	19
	売上高に対する 研究開発比率	—	2.9%	3.8%
化薬	研究開発費	46	12	14
	売上高に対する 研究開発比率	—	3.6%	3.5%
共通(コーポレート) ^{※1}	研究開発費	45	9	14
グループ合計	研究開発費	256	73	85
	売上高に対する 研究開発比率	—	3.3%	3.7%

※1 産学連携とスタートアップとの協業を含む

※2 3カ年累計額(2023年度~2025年度)

人的投資

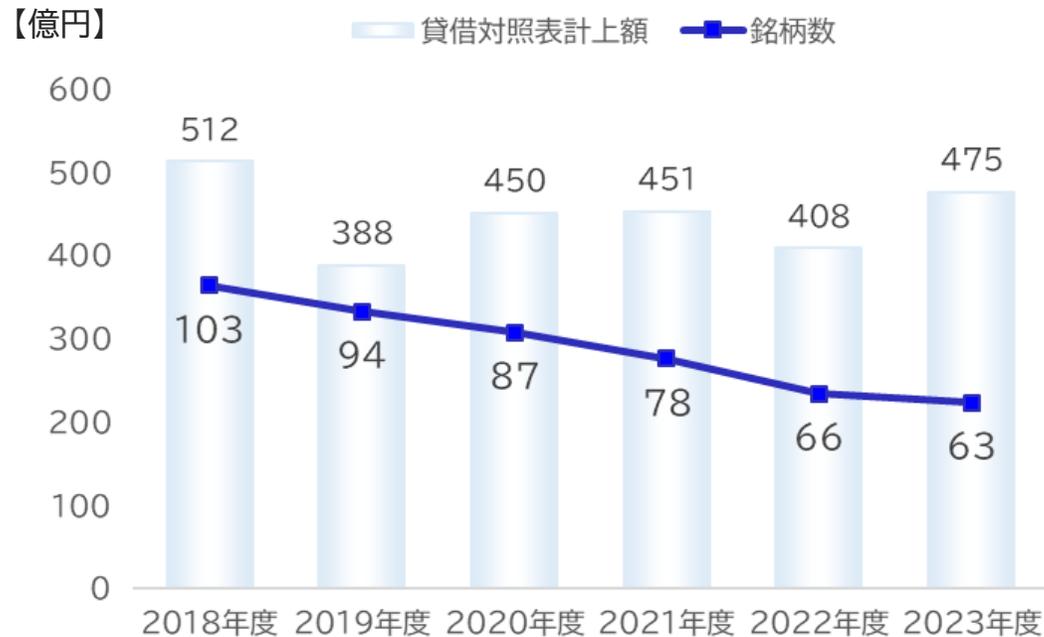
人材確保、人材育成等の人的投資

項目	2023年度の進捗	2024年度施策
従業員の自律的な成長の促進	<ul style="list-style-type: none"> ・日油グループ価値観(挑戦・公正・調和)の理解促進と自律型人材育成を全従業員を対象に実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・自律型人材として必要なスキル発揮に向けた育成施策を実施 ・仕事を通じた成長意欲向上に向けてキャリア自律に対する支援施策の実施
働きやすい職場環境づくりのさらなる推進	<ul style="list-style-type: none"> ・健康経営の取組み施策検討 ・禁煙プログラムの実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・健康づくり支援 禁煙プログラム継続 スポーツジムの利用支援 ・仕事と治療の両立支援 ・休暇制度の刷新
DX人材育成の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・DXの推進者を選定し、育成プログラムを開始 	<ul style="list-style-type: none"> ・育成プログラムの評価検証/強化を実施
海外における事業活動の支援強化	<ul style="list-style-type: none"> ・グローバルリーダー育成の推進 ・海外安全対策の強化 	<ul style="list-style-type: none"> ・グローバルリーダー育成の推進 ・海外駐在員サポートの充実
多様な人材の活性化	<ul style="list-style-type: none"> ・65歳定年へ引き上げ ・継続雇用制度の改定 	—
福利厚生施設の更新	<ul style="list-style-type: none"> ・関西地区独身寮更新検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・関西地区独身寮設計開始 ・関東地区社宅更新検討

政策保有株式

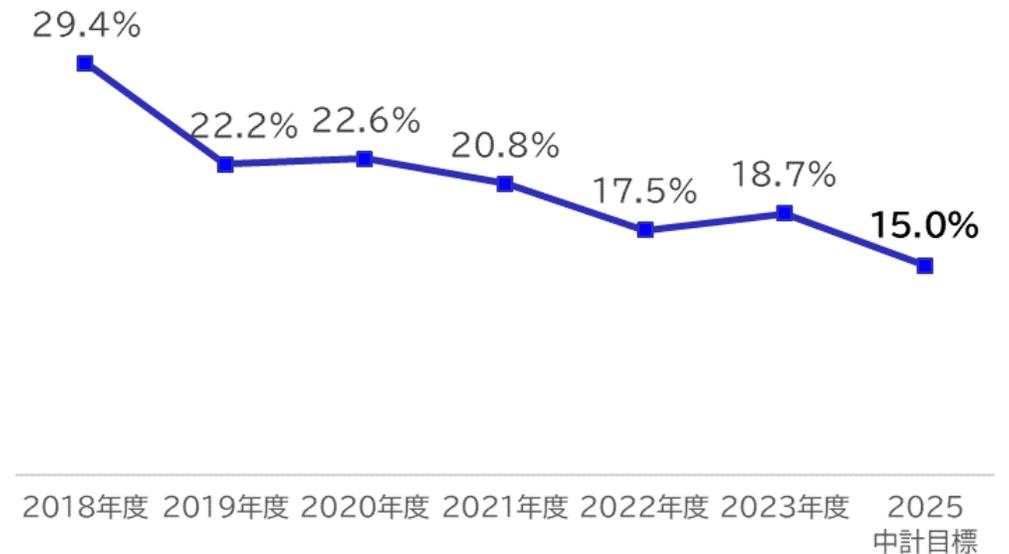
2025中計期間中は、政策保有株式純資産比率15%以下を最低目標とし、
政策保有株式の縮減を進める

政策保有株式の保有状況の推移



連結純資産比率(※)の推移

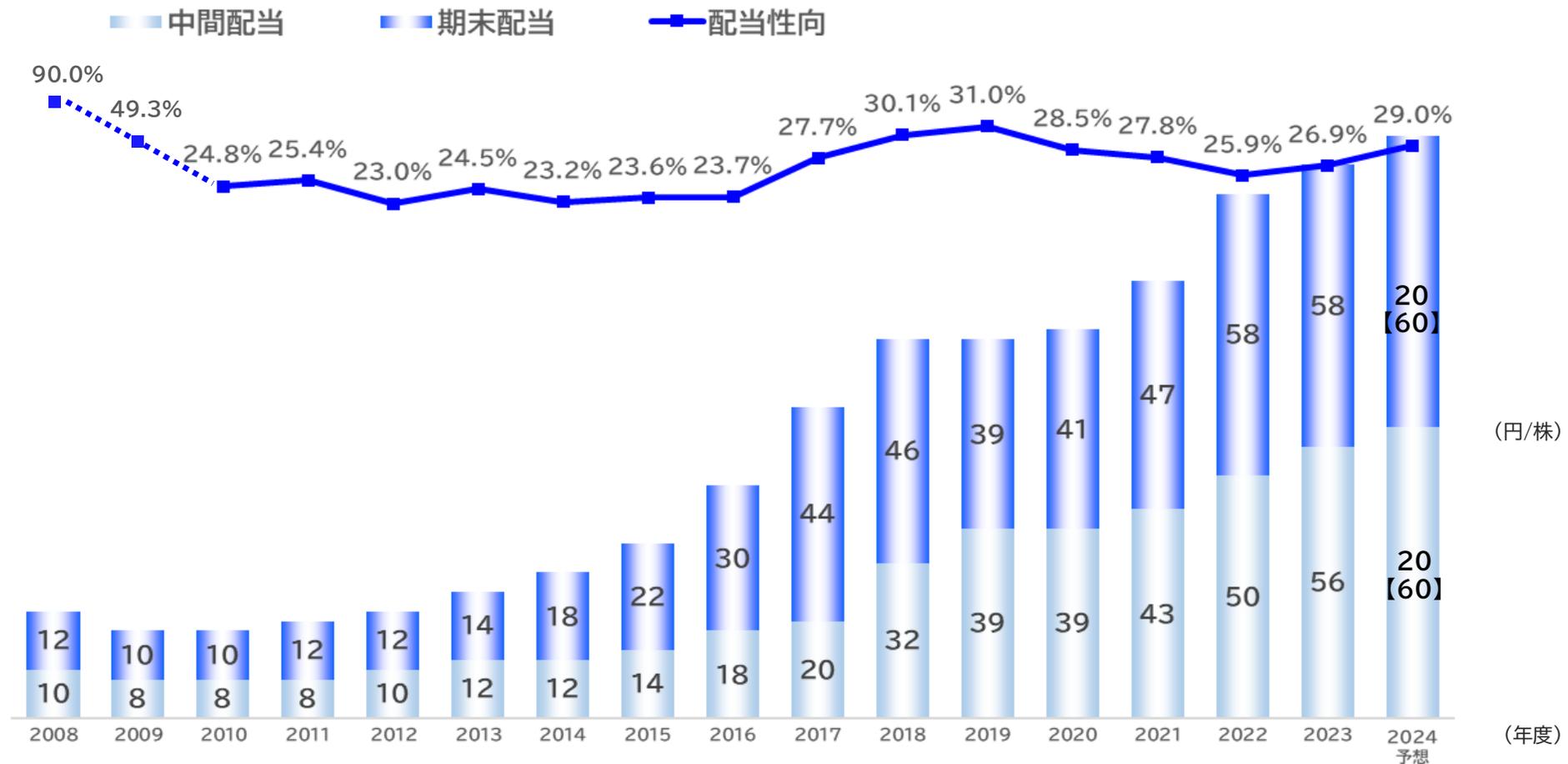
2023年度は3銘柄削減、3銘柄一部売却するも株高により
純資産比率は18.7%へ上昇



(※)政策保有株式の貸借対照表計上額および
みなし保有株式の合計額を純資産で除した比率

株主還元 配当性向

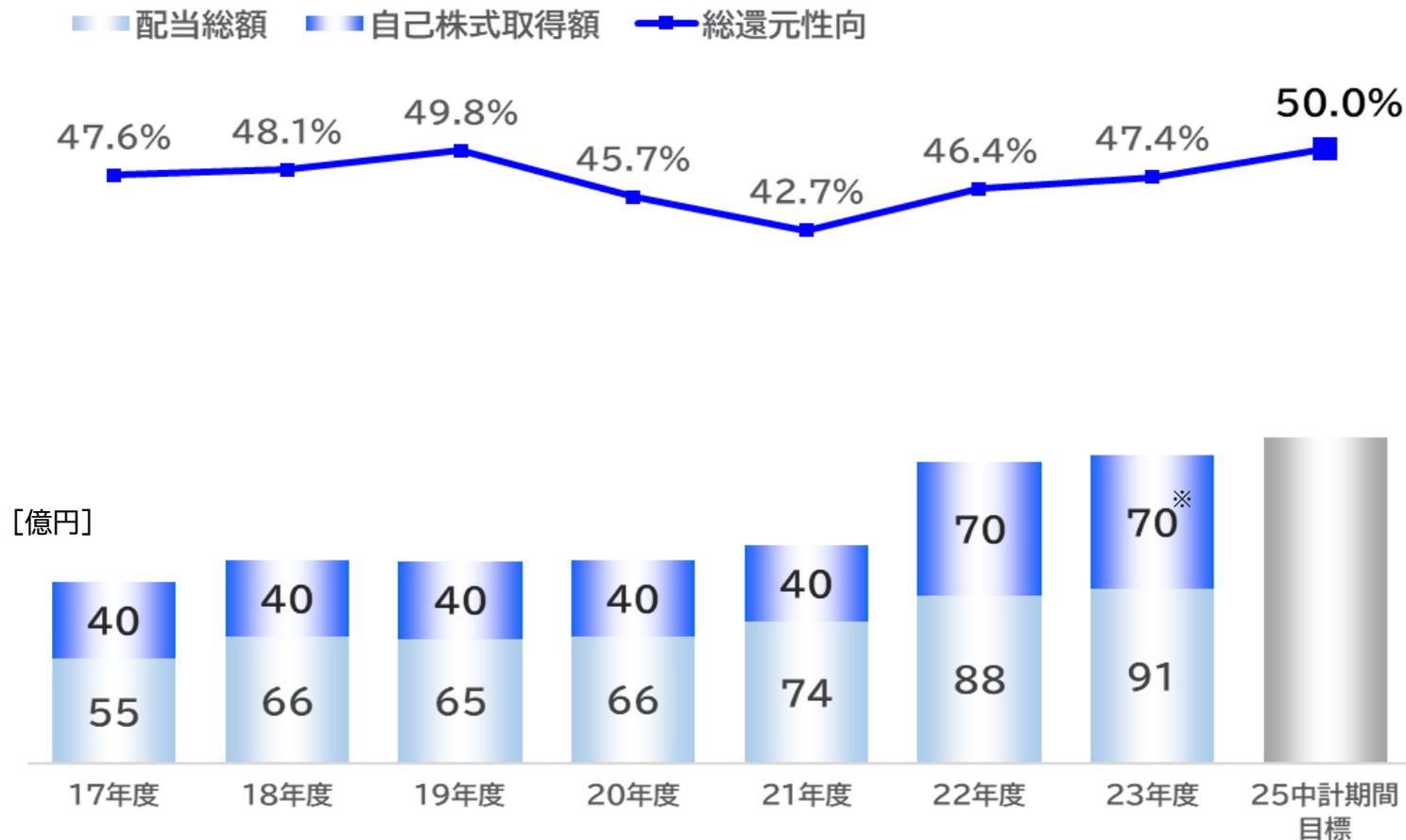
- ◆2024年度の年間配当は、40円(分割後換算で2円増配)を予定
- ◆2009年度以降、着実に累進配当を継続



(注)当社は、2017年10月1日付で普通株式2株につき1株の割合で株式併合を行っております。2017年度中間配当以前の配当金について、普通株式2株につき1株の割合で株式併合した場合の額を記載しております。また、2024年4月1日付で普通株式1株を3株に分割を行っております。2024年度予想の【】内は、分割前換算値を記載しております。またグラフは、分割前換算値により作成しております。

株主還元 総還元性向

資本効率向上を意識した株主還元を実施、戦略投資とのバランスを取りながら株主還元の維持向上に努める



2025中計期間目標水準
総還元性向50%程度

※23年度の自己株式取得額は、2024年5月9日決定の20億円取得(2024年5月10日~2024年6月28日)を含む

Appendix

連結貸借対照表

[単位:億円]

	23年 3月末	24年 3月末	増減額		23年 3月末	24年 3月末	増減額
現預金	925	917	▲8	仕入債務	197	231	+34
売上債権	490	582	+92	有利子負債	48	52	+3
棚卸資産	497	510	+13	繰延税金負債	98	129	+31
その他流動資産	25	39	+14	その他	350	343	▲7
有形・無形 固定資産	650	769	+118	(負債)	(694)	(755)	(+61)
投資有価証券	447	512	+65	株主資本	2,146	2,319	+173
その他	60	85	+26	その他の包括利 益累計額	246	331	+85
				非支配株主持分	8	9	+1
				(純資産)	(2,400)	(2,659)	(+259)
資産	3,094	3,414	+320	負債・純資産	3,094	3,414	+320

連結キャッシュ・フロー計算書

[単位:億円]

	2022年度	2023年度
1. 営業活動によるキャッシュ・フロー	233	300
2. 投資活動によるキャッシュ・フロー	▲7	▲150
投資有価証券売却	56	36
固定資産取得	▲62	▲177
その他	▲1	▲8
3. 財務活動によるキャッシュ・フロー	▲162	▲171
長期・短期借入金の変動	▲11	▲3
自己株式取得	▲70	▲75
配当金の支払	▲79	▲92
その他	▲2	▲1
4. その他	12	5
1~4の計	76	▲16
5. 期末残高	891	875
フリー・キャッシュ・フロー	226	150

指標推移(1)

		2022年度	2023年度	前期比
売上高営業利益率	[%]	18.7	19.0	+0.3
売上高経常利益率	[%]	19.8	20.5	+0.7
総資産経常利益率 (ROA)	[%]	14.4	14.0	▲0.4
自己資本当期純利益率 (ROE)	[%]	14.8	13.5	▲1.3
D/E レシオ	[倍]	0.02	0.02	+0.00
自己資本比率	[%]	77.3	77.6	+0.3

指標推移(2)

		2022年度	2023年度	前期比
1株当たり当期純利益	[円]	139.0 [※]	141.2	+2.2
1株当たり純資産	[円]	986.9 [※]	1,109.0	+122.1
1株当たり配当	[円]	108	114	+6
配当性向	[%]	25.9	26.9	+1.0
3月末当社株価	[円]	2,056.7 [※]	2,085.5	
	cf. 日経平均株価	28,041	40,369	
株価純資産倍率(PBR)	[倍]	2.08	1.88	▲0.20
株価収益率(PER)	[倍]	14.8	14.8	+0.0

※2024年4月1日付で普通株式1株を3株に分割

2022年度の1株当たり当期純利益/純資産および3月末当社株価は、分割換算した数値を記載

- ・本資料はあくまで弊社をより深く理解いただくための資料であって、本資料による投資等何らかの行動を勧誘するものではありません。
- ・本資料は、現時点で入手可能な情報に基づいて弊社の判断により作成されておりますが、実際の業績が様々な要素により計画とは異なる結果となり得ることをご承知おきください。
- ・本資料のご利用に関しましては、ご自身の判断と責任にてお願いいたします。
- ・本資料の金額表示は、億円未満を四捨五入しております。

お問い合わせ先： 日油株式会社
コーポレート・コミュニケーション部 IR室 岡田 賢典

住 所： 東京都渋谷区恵比寿四丁目20番3号

電 話： 03-5424-6651

F A X： 03-6634-6471

E - m a i l： iroffice@nof.co.jp

ホ ー ム ペ ー ジ： <https://www.nof.co.jp>

本資料中に記載の商品名などは日油株式会社の登録商標または商標です。